

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	応答制御と減衰小委員会		主 査 名：新宮清志 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>シェル・空間構造物の減衰機構・減衰性能を明らかにし、さらに積極的に免震・制振等により応答制御を行い、構造物の地震・台風被害を低減することが重要と考えられる。そこで、本小委員会はシェル・空間構造物の応答制御および減衰の調査研究を行う事を目的としている。</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として地震に対してのシェル・空間構造物の免震・制振・減衰に関する調査研究を行う。なお、減衰に関しては、比較的微少振幅の振動に対するものを対象とする。</li> <li>・書籍「シェル・空間構造物の応答制御と減衰」(仮題)の原稿執筆を開始する。</li> </ul> <p>2 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出版物の刊行を行う。</li> <li>・シンポジウム、講習会、セミナー等のいずれかを実施する。</li> <li>・比較的大振幅の振動に関する減衰の調査研究を行う。</li> <li>・応答制御が施されたシェル・空間構造物の減衰に関する調査研究を行う。</li> </ul> <p>3 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として風に対してのシェル・空間構造物の制振・減衰に関する調査研究を行う。</li> <li>・比較的大振幅の振動に関する減衰の調査研究を行う。</li> <li>・応答制御が施されたシェル・空間構造物の減衰に関する調査研究を行う。</li> </ul> <p>4 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会 PD、シンポジウム、セミナー等のいずれかを実施する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査 新宮清志 (日本大学) 幹事 立道郁生 (明星大学) 幹事 山田耕司 (豊田工業高等専門学校) 委員 青木義男 (日本大学) 入江寿弘 (日本大学) 大木洋司 (三菱重工鉄構エンジニアリング) 瀧 諭 (清水建設) 谷口与史也 (大阪市立大学) 中澤祥二 (豊橋技術科学大学) 西田明美 (日本原子力研究開発機構) 福住忠裕 松野浩一 (東洋大学) 水谷太朗 (大成建設) 吉中 進 (大阪市立大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s18/">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s18/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>名 称：シンポジウム「シェル・空間構造の応答制御と減衰—最近の取り組みと将来—」</p> <p>資料名：同上（46 頁）</p> <p>参加者：43 名（有償者）</p> <p>開催日：2009 年 12 月 9 日（水）</p> <p>会 場：建築会館会議室</p> <p>※シンポジウムの詳細は、建築雑誌 2010 年 3 月号に掲載予定である。</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 約 4 年前に計画した通りに実行できた点では、ほぼ満点である。</li> <li>2. シンポジウムの参加者数の点から言えば、従来、本小委員会が開催した催し物としては、最も少なかったが、部屋の大きさからは適切な人数で、充実した内容であったと思われる。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>本年度：特に問題なし。</p> <p>過去 12 年間の活動を終えるに当たって：シェル・空間構造物の「減衰」と「応答制御」をテーマにした 12 年間（WG：4 年間、小委員会：8 年間）に渡る活動で、2 回の大会 PD、2 回のセミナー、1 回のシンポジウム、1 冊の書籍出版を行った。ほぼ満足できる活動であったと考えている。</p> <p><u>2 年後には、本テーマに関連した小委員会の再出発をお願いしたい。</u></p>